

武豊町公民連携プロジェクト 第2弾

行政職員向け研修「課題とパートナー探求」

公民連携プロジェクトについて

「公」と「民」、それぞれの力を合わせ、自分たちで地域課題を解決することを目的にスタートした、全6弾の本プロジェクト。9/5(土)に開催した第1弾・キックオフイベントに引き続き、第2弾・行政職員向けマインドセット研修を行いました。今後、第3～5弾で企業・住民団体を対象に研修を行い、第6弾「100人会議(全体交流会)」に向け、各セクターが課題や得意を見つめ直していきます。

STEP.1

キックオフイベント「ほしい未来は、自分で作る」
講演・対話から新しい仲間や活動のタネを探そう

9/5(土) 講師:まち楽房 加藤 武志

STEP.2

行政職員向け
課題とパートナー探求

9/29(木)

講師:まち楽房 加藤 武志

場所:武豊町役場2～4会議室

中小企業
小規模事業者向け

持続可能なビジネスとは

11/30(月)13:30～16:30

講師:Mブリッジ 米山 哲司

場所:武豊町役場2～4会議室

大企業向け

社員の早期離職防止のために

12/17(木)13:30～16:30

講師:Mブリッジ 米山 哲司

場所:武豊町役場2～4会議室

住民団体向け

新しいアイデアの出し方

1/30(土)13:30～

講師:Mブリッジ 米山 哲司

場所:地域交流センター2階

STEP.3

100人会議(全体交流会)

それぞれの“気づき”や“得意”を持ち寄って、ほしい未来を自由にトーク

3/7(日) 13:30～16:30 講師:まち楽房 加藤 武志 場所:ゆめたろうプラザ審美ホール

NEXT

「公」と「民」、それぞれの強みを連携させて、
これからの武豊町を、自分たちでつくろう

1.オープニング

武豊町の公民連携とは～事例紹介～

今年度の機構改革で、経営戦略課に「公民連携推進室」が立ち上がり、「どんなことやっているんだろうか？」や、「これまで進めてきた協働とは何が違うのだろう。」と疑問のある方も多いと思います。公民連携推進室では、複雑化・多様化する住民ニーズに柔軟かつ迅速に対応するため、様々なセクターが協力し合える体制づくりを進めています。

行政の持つ「地域の課題や制度の知識」と民間の「スピード感や新しい発想」を掛け合わせることで、今まで実現しづかったことも可能になります。課題に応じて、対話、信頼、役割分担を大切にしながら、最適な連携の形を選択し、自分の業務だけでなく視野を広げ、あらゆる分野の地域課題を解決できる可能性を探っていきましょう。



経営戦略課兼
公民連携推進室担当
鳥居佑多

2.講演「ほしい未来は、自分でつくる。」

場の雰囲気や和らげるアイスブレイクで、傾聴などコミュニケーションのコツを学んだあと、他市の事例を交えながら、ワクワクするまちづくりのポイントや心得などを学びました。



講師
TAKENO

「正しい」からではなく「おトク」

だから人は動く。

役に立てた、仲間になれた、だって「おトク」。相手の「おトク」をプロデュースしよう！

「まちを遊ぶ」。

今あるものの価値や魅力を再編集しながら使っていく！ポイントになるのは「おもしろがれる力」。自分の好きなこととまちを掛け合わせると、何か新しいことが生まれるかも！

ジブンゴト化。

周りの人を巻き込むには、いかに「自分事化」するかがポイント。巻き込む相手が、関わることで「変えられる可能性」を感じられることが大事！市民参加は「入口から出口まで」

ONE TEAM

「公民連携」を一言で言うと、それぞれの良さや強みを持ち寄って、共に考え行動する「ONE TEAM」。

資源は有限だけど、課題は無限にある。公民連携で新たな価値や魅力を生み出すことで、まちは変えられる。

3.「役場の外に、仲間を見つけよう」

1.レクチャー

連携協定・企業版ふるさと納税・アウトソーシング・地域活性化補助金・提案型協働事業などの制度や様々な手法を事例を基に紹介。「やりたいけど手がついていない」「予算がつかない」、そんな課題を一緒に解けるようなパートナーを見つけよう！



2.まちのシゴトの棚卸し

担当している事業の名称、一言でいうとどんな事業か、困っていること・気になっていることを個人ワーク＆グループ共有。実務の中からさまざまな困りごとが洗い出されました。

3.作戦会議「誰と一緒になら可能性が広がる？」

困りごとを記入したシートをみんなに回覧。青い付箋に感想、気づき、アドバイスなどを記入。課題を解決するために、「ここに声をかけてみたら？」という相手を見つけ、パートナー候補欄に記入しました。

4.「誰に・何を聞く？」を具体化しよう

自分のシートが戻ってきたところで、その中から「聞いてみたいと思う相手」を3つまで選び、「その相手にどんなことを聞きたいか？話してみたいか？」を記入。もう一度グループで紹介し合い、アドバイスを交換した。

4.アフターレク

みなさんには「縁の仕掛け人」になってほしい。周りの人や団体のやる気とパワーを引き出して、公益的なこと、みんなのためになることと繋いでいくと、もっとワクワクする武豊になると思います。

「縁の仕掛け人」のコツは3つ。1つめは「余白をデザインする」。

関わりしろを設計する。相手に思いつかせ「TO DO」でなく「WANT TO」にすることが大事。2つめは「本当のWin-Win」。連携することで重なった小さな部分だけを探すのは「妥協」。本当のWin-Winは、

AでもBでもない「新たな価値を生み出すこと」。3つめは、トム・ソーヤのごきげんなペンキ塗りの話のように、楽しそうにやること。仕事を、価値ある魅力的なものとしてプロデュースすることで、人を巻き込める。他人事じゃなくて自分事にできたら、そして仲間と一緒に武豊のために未来の種をまくことができれば、未来は変えられると思います！



ひとことアンケートより(主な声・要旨) 他人事ではなく自分事として仕事をしたい／あげた課題を一步步進めていきたい／公民連携の種を見つけるために、内部の連携も大切／トム・ソーヤのように、役場みんな笑顔で仕事できるといいな／余白をデザインできるような職員になりたい

発行：
武豊町 政策推進部
経営戦略課 公民連携推進室